

石狩管内



札幌市



江別市



千歳市



恵庭市



赤れんが庁舎 (北海道庁旧本庁舎)



北広島市



石狩市



当別町



新篠津村

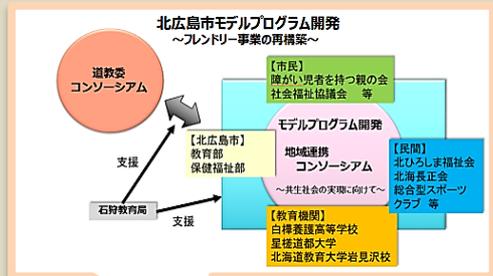
石狩管内の総面積は 3,540.06 km²で、鳥取県とほぼ同じ面積です。中央部は、日本三大河川の一つである石狩川が東西に走り、その流域には広大かつ肥沃な石狩平野が広がっています。管内の人口は、令和2年の国勢調査では2,396,732人で、全道の約46%を占めています。

北海道の中核機能を備える道都札幌市を中心に大都市圏を形成しています。一方で管内は森林、山岳、湖沼、海岸線、高山植物など自然美に富んだ景勝地が多く、これらの多くは支笏洞爺国立公園や、暑寒別天売焼尻国定公園、道立自然公園野幌森林公園に指定されています。

障がい者の生涯学習支援活動【石狩管内(北広島市)】

障がい者の生涯学習推進コンソーシアム

コンソーシアム設置当初 (R2~R4)



事業
終了後

現在のコンソーシアム (R5~現名称に変更)

R5

- ・市コンソ運営 (ニーズ、課題、事業検討)
- ・事業実施

R6

- ・市コンソ運営 (既存事業のインクルーシブ化)
- ・事業実施

R7

- ・市コンソ運営 (既存事業のインクルーシブ化)
- ・事業実施 (北広島市担当者より)

R4

- ・先進地視察(7月)
- ・市コンソ運営、新事業検討
- ・新事業①(いんくるむ)
- ・道コンソ参加
- ・新事業②(みんす (北広島市担当者より))

R3

- ・市コンソ設立(10月)
- ・道コンソ参加
- ・キックオフ事業 (ビッグフラッグアート作成ほか)

R2

- ・職員研修会(8、10月)
- ・道コンソ参加
- ・関係団体への趣

【成果①】市民の障がい者への理解と共生社会の実現に向け、関係機関・団体や高等教育機関との連携によるあらたな事業の展開が成された。

【成果②】障がい者の地域とのつながりの強化、障がい者の生涯学習機会の創出など共生社会の実現に向け、いかに誰でも参加できるかについて、方法や周知の仕方について検討できた。

【成果③】事業推進のための社会教育主事のネットワーク形成能力、関係団体との調整力、説明力等、資質・能力の向上が図られた。

【成果】コンソーシアムの継続により、団体間の情報共有や障がい者等の状況及びニーズの把握が容易になっている。

【課題】障がい者等の生涯学習に寄与できているか、測定する評価指標がない。

【今後】関係者は「歳を取れば皆障がい者」と話す。障がいの有無に関わらず、事業に参加していいと思ってもらえるよう、細く長く続けていきたい。

コンソーシアムには

「規約・会則」がない

⇒ 構成員をあらかじめ指定していないため、団体の新規参画も容易

⇒ 予算付けはないが、その分自由度が高い



